

学識経験者意見

氏名 松本 渡支雄

1 教育委員会の活動状況について

教育委員会の活動状況については、教育施策の策定、教育委員会規則の制定及び規程の制定等、改善が進んでいますが、教育委員会会議の運営の工夫、議題の事前勉強、地域住民への積極的な発信等々、さらに工夫する必要があると思います。

また、教育条件の整備、予算の執行等、首長との連携をさらに深める方策の検討も必要であると思います。

2 教育施策の推進状況について

○ 「平成 26 年度福岡県の教育施策」の 5 つの柱を基盤にし、吉富町の実状にあった今日的な教育課題等を考慮にいれ、時代の要請に鑑みた教育施策であり、理念とビジョンそして取り組みに一貫性が見られます。また、施策の狙いに照らした取組状況や評価・課題が適切に記述されている点については評価できると思います。今後さらに分析・考察を加えて、より説得的な説明になるよう期待します。

○ 生涯学習社会の実現をめざす社会教育の推進、特色ある町民文化の創造、生き生きとしたスポーツライフの創造等々、小規模教育委員会としては施策推進に様々な困難が予想されますが、組織的な取組みによって、着実に課題が解決されている様子が伺えます。

特に、本年度は、「埋蔵文化財発掘調査員」を雇用することにより、文化財の指定、保存、活用に係る取組が充実している点は評価できると思います。

○ 学校教育の質を上げていくためには、教職員の意欲や能力を生かし、伸ばしていくことが大切です。そのためには、教育委員会は教育センター的な機能を果たしていかなければなりません。と同時に、学校が教育機関としての機能を発揮できる諸条件の整備にも努めなければなりません。

そのような中、今、教育委員会に問われているのは問題解決力、危機管理能力です。事務局職員一人一人が、先見力、洞察力、判断力、実行力を身に付け、組織体として英知を結集し、施策を積極的に推進していかなければなりません。指導行政の一層の充実を期待しています。